

Capo. 0 1-2il (Em)
Capo. 7 1-2il (Am)

夏つけき

Em D Em C D Em

^{Em}夏の初めのある日のことだった

^{Em}一夕に満ちた思い出 ^D儂い記憶 ^G

^G真心知れた友達に助けられて

^Gそしてあなたと三人 ^{Am}語りあいました ^D

^{Em}緊張していた僕を ^D友達が ^C和らげるように ^{B7}

^{Em}気の利いた話をして ^D盛り上げてくれた ^G

★ ^{Em}一度きりなのに ^D ^{Em}

^Cひたり前なのに ^D ^{Em}

^{Em}は、ヨリとそのこと ^D ^{Em}

^C憶えていよう ^D ^{Em} ★★

1-2il

まだお酒も飲めなかったウブだった僕は

ソフトドリンクだけでヤキ=気取って

冗談すら言えずにただ生真面目に

相槌するだけでときどき間抜けた発言

それでもあの時のあなたの笑顔は明るく

けて作ったものでなく僕に向けてくれた

(★ ~ ★★ くりかえし)

夏つけき 咲く道 帰りの道で

この手を別れる 辛さを感じて